

## 母性看護専門看護師のキャリアパス

小さい頃から女性の健康を支援したいと思い婦人科病棟を希望し、2年目から婦人科外来も経験するようになりました。婦人科疾患を抱える患者さんの様々な思いに触れる中で、根拠に基づいた看護を提供したいと考えるようになり進学を決意しました。その際、院内の専門看護師が親身に相談に乗ってくれ大変勇気づけられました。

入職

休職して大学院へ通い、学問だけに集中できる機会をいただきました。授業や実習だけでなく、海外研修や学会などにも参加し、集学的にウィメンズヘルスを捉えるアメリカの医療の在り方に感銘を受けました。大学院では意欲に満ちた仲間や素晴らしい教員に出会い、学問だけでなく人間的にも多くの学びを得ることが出来ました。

8年目  
大学院進学

復職後は婦人科病棟・外来に配属されました。プレ専門看護師として、ライフサイクルに応じた治療の意思決定支援や症状に対するセルフケア支援などを行いました。大学院修了後も大学院の仲間と実践報告会などを継続し、専門看護師に求められる役割について熟考する日々を過ごしていました。

10年目

専門看護師  
認定

専門看護師取得後は外来の質向上を目標に挙げ、管理者やスタッフの協力のもと、直接的なケアはもちろん、外来における業務改革や教育に力を入れています。またがんや慢性疾患を有する患者さんの妊孕性や更年期・セクシュアリティに関するコンサルテーションや、様々な倫理課題に対し組織横断的に取り組んでいます。

現在